

# 長野市スポーツ施設に関する市民アンケート 調査結果

令和8年1月  
長野市スポーツ部スポーツ課

## 1. 調査概要 . . . . . p. 2

- (1) 調査の目的及び調査内容
- (2) 調査対象
- (3) 調査方法
- (4) 配布状況及び回収結果
- (5) 調査結果を見る際の留意点

## 2. 回答者属性 . . . . . p. 3

- (1) 性別・年代・仕事
- (2) 居住の状況
- (3) 小学生以上高校生未満の年齢の子ども
- (4) PC・スマートフォンの使用能力
- (5) スポーツにかけている費用

## 3. 運動・スポーツの実施状況 . . . . . p. 6

- (1) 運動・スポーツの実施場所
- (2) 社会体育館の利用有無
- (3) 社会体育館の利用頻度

## 4. 社会体育館の維持に対する考え . . . . . p. 9

- (1) 社会体育館の維持に対する考え
- (2) 社会体育館の利用料金についての考え
- (3) 社会体育館の設備更新や機能強化についての考え

## 【参考】 . . . . . p. 14

# 1. 調査概要

## (1) 調査の目的及び調査内容

本調査は、長野市が管理運営する社会体育館の有料化について、社会体育館を使用していない者を含む市民の以下の意識を把握するために実施する。

- ①市民の社会体育館利用状況を把握すること
- ②市民の社会体育館の維持に関する考え方
- ③市民のスポーツに対する経済的な負担感覚や社会体育館の利用料についての考え方を把握すること
- ④その他社会体育館の今後の在り方の検討に必要な事項

## (2) 調査対象

無作為に抽出した18歳以上の長野市民3,000人

## (3) 調査方法

webフォームまたは紙の調査票による回答

## (4) 配布状況及び回収結果

- 配布数：3,000件
- 有効回答数：1,036件
- 回収率：34.5%

## (5) 調査結果を見る際の留意点

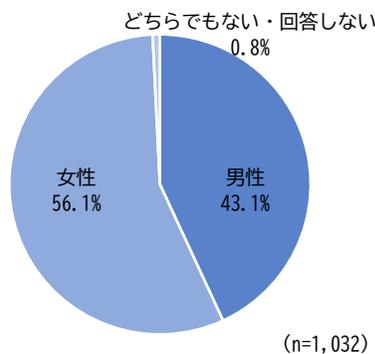
- 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合や文中に示す数値とグラフの数値が一致しない場合がある。
- 図表内のnは該当する設問の回答者数を表す。無回答を除いて集計しているため、設問ごとに回答者数が異なる。
- 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答の設問では、回答数の合計を回答者数（n）で割った比率を示しており、比率の合計は100%を超える。

# 2. 回答者属性

## (1) 性別・年代・仕事

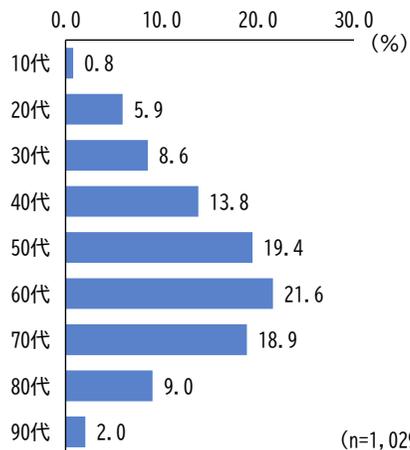
- 性別は、「男性」が43.1%、「女性」が56.1%、「どちらでもない・回答しない」が0.8%である。
- 年代は、「60代」の割合が21.6%で最も高く、次いで「50代」が19.4%、「70代」が18.9%である。
- 仕事は、「フルタイム」の割合が45.3%で最も高く、次いで「専業主婦・主夫／無職・退職」が37.6%である。

図表1 性別



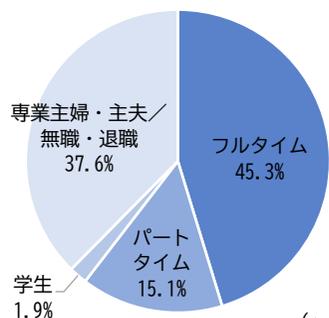
(n=1,032)

図表2 年代



(n=1,029)

図表3 仕事

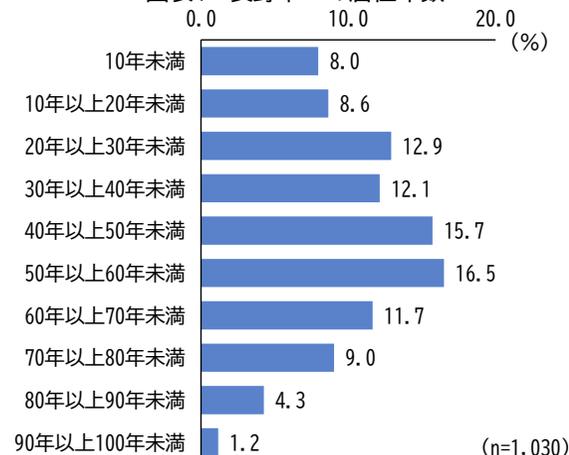


(n=1,031)

## (2) 居住の状況

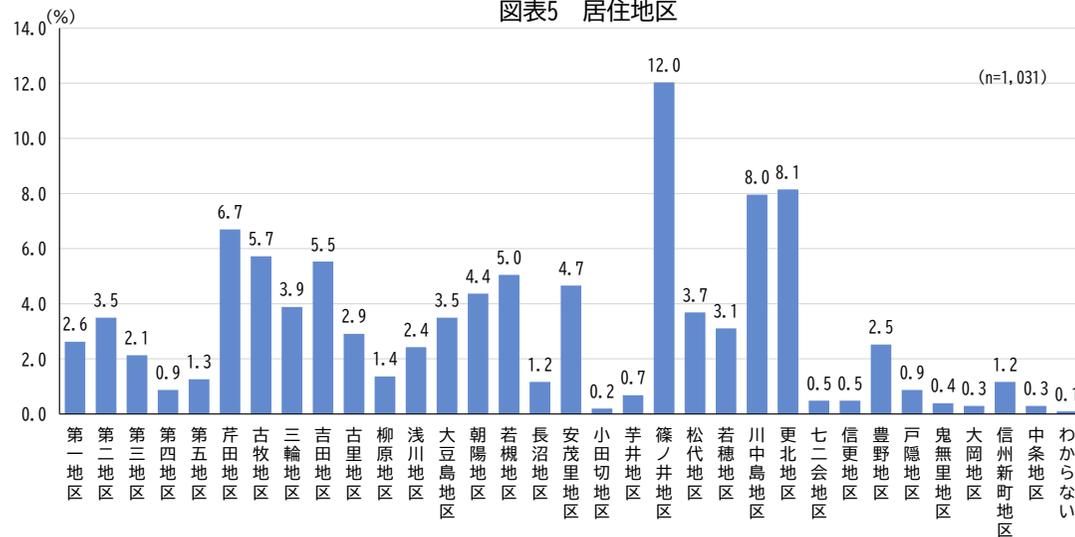
- 長野市への居住年数は、「50年以上60年未満」の割合が16.5%で最も高く、次いで「40年以上50年未満」が15.7%である。
- 居住地区は、「篠ノ井地区」の割合が12.0%で最も高く、次いで「更北地区」が8.1%、「川中島地区」が8.0%である。

図表4 長野市への居住年数



(n=1,030)

図表5 居住地区

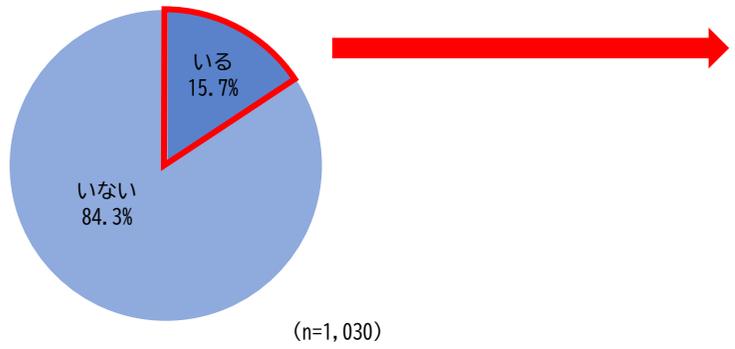


(n=1,031)

### (3) 小学生以上高校生未満の年齢の子ども

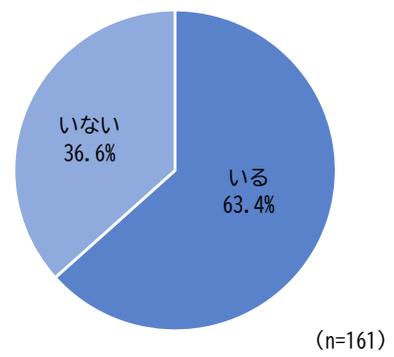
- 小学生以上高校生未満の年齢の子どもが「いる」と答えた割合は15.7%、「いない」は84.3%である。
- 「いる」と答えた人のうち、学校以外で定期的に運動・スポーツをしている子どもが「いる」と答えた割合は63.4%、「いない」は36.6%である。

図表6 小学生以上高校生未満の年齢の子どもの有無



回答対象：小学生以上高校生未満の年齢の子どもがいる人

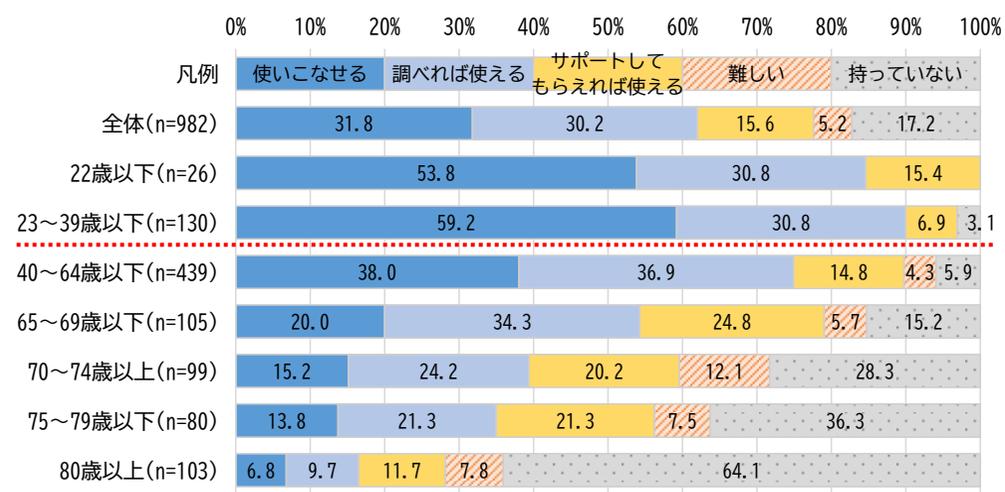
図表7 学校以外で定期的に運動・スポーツをしている子どもの有無



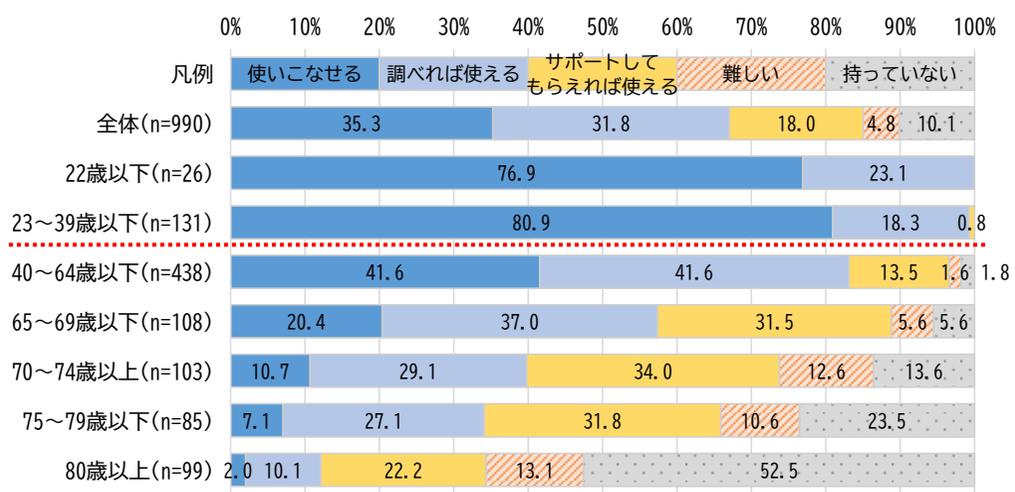
### (4) PC・スマートフォンの使用能力

- PC・スマートフォンの使用能力を年代別に見ると、どちらも、39歳以下と40代以上で「使いこなせる」の割合に大きな差が見られる。
- 40歳以上では、年代が上がるごとに「使いこなせる」や「調べれば使える」の割合が減り、「持っていない」の割合が増えている。
- 80歳以上では「難しい」と「持っていない」の合計がPC・スマートフォンともに約7割となっている。

図表8 PCの使用能力



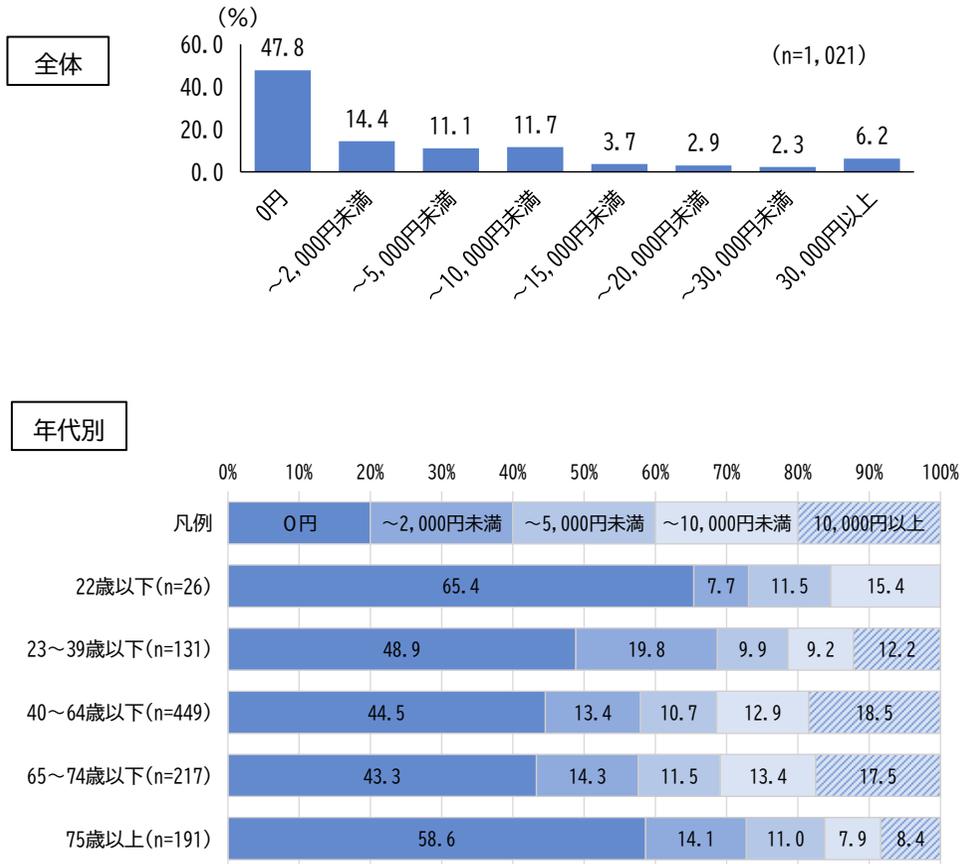
図表9 スマートフォンの使用能力



## (5) スポーツにかけている費用

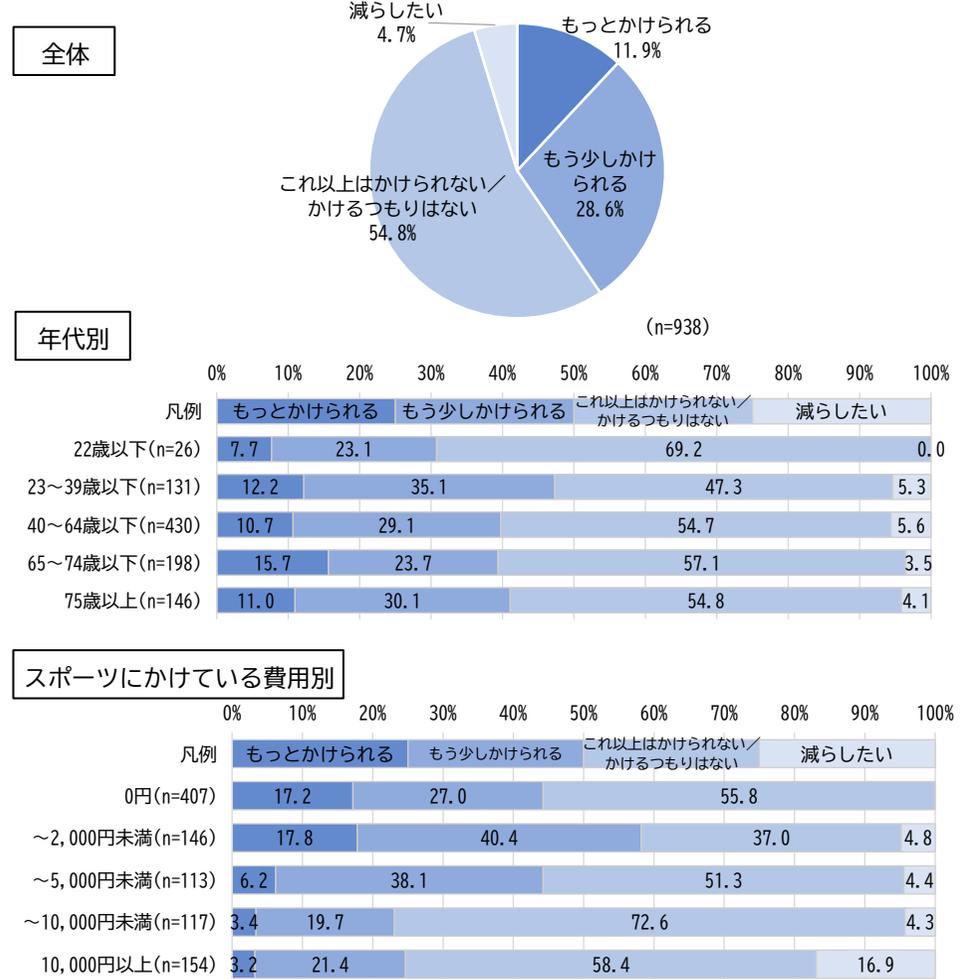
- 1ヶ月間で運動・スポーツにかけている費用は、「0円」の割合が47.8%で最も高く、次いで「1円以上2,000円未満」が14.4%で、この2項目の合計で6割を超えている。
- 年代別に見ると、「0円」の割合が22歳以下と75歳以上で過半数となっており、スポーツに特別費用をかけていない割合が高い。一方、40～64歳、65～74歳以上では10,000円以上の割合が2割近くとなっており、費用をかけている人が一定数見られる。

図表10 1ヶ月間で運動・スポーツにかけている費用



- 運動・スポーツにかけている費用についてどう感じているかについては、「これ以上はかけられない／かけるつもりはない」の割合が54.8%で最も高く、次いで「もう少しかけられる」が28.6%である。
- 年代別に見て傾向に大きな差はない。
- 費用別には現在0円や2,000円未満の層で「もっとかけられる」の割合が高い。

図表11 かけている費用についてどう感じているか

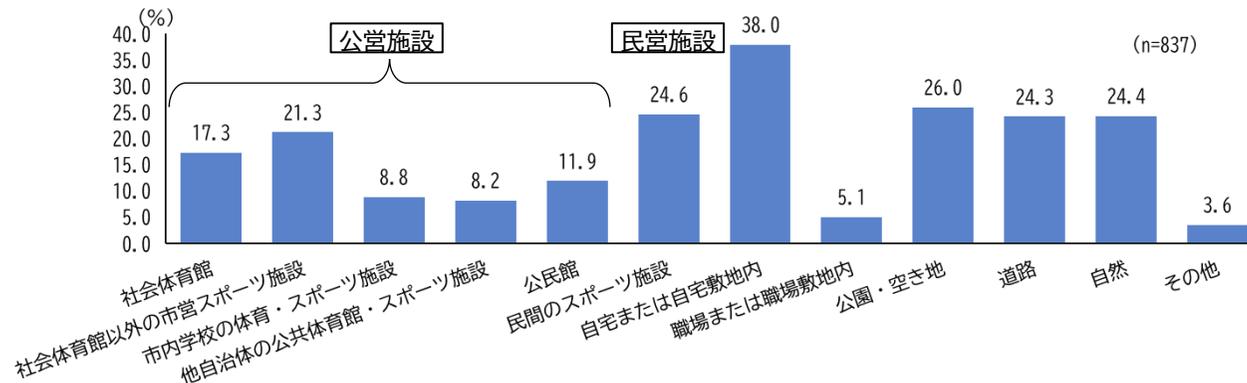


# 3. 運動・スポーツの実施状況

## (1) 運動・スポーツの実施場所

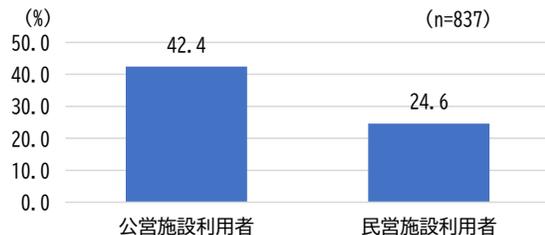
- この1年間で運動・スポーツを実施した場所については、「自宅または自宅敷地内」の割合が38.0%で最も高い。
- 「社会体育館」で実施した人の割合は17.3%となっている。
- 「公営施設」の利用率は42.4%、「民営施設」の利用率は24.6%である。
- 公営・民営施設利用別に1ヶ月間で運動・スポーツにかけている費用を見ると、公営施設利用者では「～5,000円未満」の割合が44.2%で最も高く、次いで「0円」が21.4%である。それに対し、民営施設利用者では「～10,000円未満」が30.6%で最も高く、「～5,000円未満」「20,000円以上」が続く。

図表12 この1年間で運動・スポーツを実施した場所[複数回答]



※複数回答におけるn値は回答件数の合計ではなく、1つでも回答した人(回答者)の合計を示す(以下、同様)

図表13 公営施設・民営施設の利用率[複数回答]



区間推定：調査対象者のうち、公営・民営施設を利用している割合は、95%信頼区間で以下の範囲にあると推定される。

	標本比率 (%)	信頼区間 (%)
公営施設利用率	42.4	39.1～45.8
民営施設利用率	24.6	21.7～27.5

(95%信頼区間)

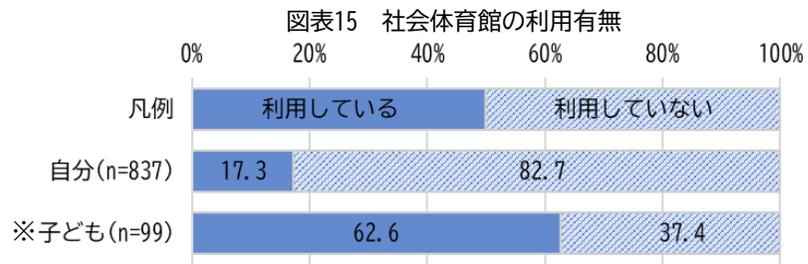
※95%信頼区間：仮に100回調査をした場合、95回は真値を含む範囲のこと

図表14 公営・民営施設利用別 1ヶ月間で運動・スポーツにかけている費用



## (2) 社会体育館の利用有無

- スポーツの実施場所として「社会体育館」を利用した人の割合は対象者の17.3%である。この結果から、95%信頼区間で推定を行うと、社会体育館を利用している市民の割合は、14.8~19.9%の範囲にあると推定される。また、運動・スポーツをしている小学生以上高校生以下の子どもの子どもの社会体育館利用率は62.6%で、対象者自身よりもかなり高い。
- 社会体育館を利用している人の属性を見ると、年代は「40~64歳以下」が39.3%、仕事は「フルタイム」が43.1%となっている。PCやスマートフォンは「使いこなせる」が3割を超えている。運動・スポーツにかかる費用は「~2,000円未満」の割合が25.9%で最も高く、次いで「~5,000円未満」が21.7%である。費用負担感は「これ以上はかけられない/かけるつもりはない」が44.9%と半数近くになっている。



※回答対象：小学生以上高校生未満で運動・スポーツをしているお子さんのいる人

■ 区間推定 (対象者本人)  
調査対象者のうち、社会体育館を利用している割合は、95%信頼区間で14.8~19.9%の範囲にあると推定される。

	標本比率 (%)	信頼区間 (%)
利用している	17.3	14.8~19.9
利用していない	82.7	80.1~85.2

(95%信頼区間)

性別 (n=145)

男性	46.9
女性	52.4
どちらでもない・回答しない	0.7

年代 (n=145)

22歳以下	5.5
23~39歳以下	9.7
40~64歳以下	39.3
65~74歳以下	23.4
75歳以上	22.1

仕事 (n=144)

フルタイム	43.1
パートタイム	14.6
学生	5.6
専業主婦・主夫/無職・退職	36.8

図表16 社会体育館利用者の属性

PCの使用能力 (n=139)

使いこなせる	33.1
調べれば使える	27.3
サポートしてもらえれば使える	18.7
難しい	7.2
持っていない	13.7

スマートフォンの使用能力 (n=142)

使いこなせる	33.8
調べれば使える	30.3
サポートしてもらえれば使える	22.5
難しい	5.6
持っていない	7.7

1ヶ月に運動・スポーツにかかる費用 (n=143)

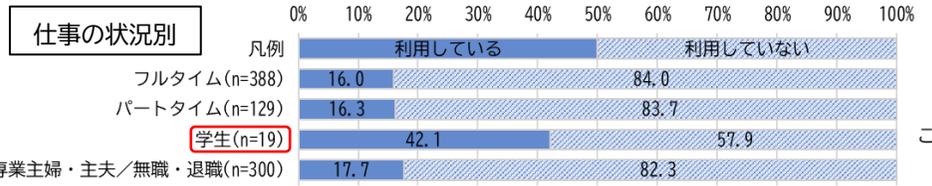
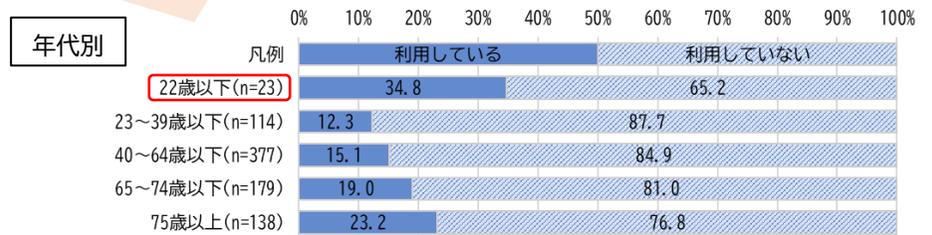
0円	19.6
~2,000円未満	25.9
~5,000円未満	21.7
~10,000円未満	14.0
~15,000円未満	4.9
~20,000円未満	2.1
~30,000円未満	4.2
30,000円以上	7.7

費用負担感 (n=136)

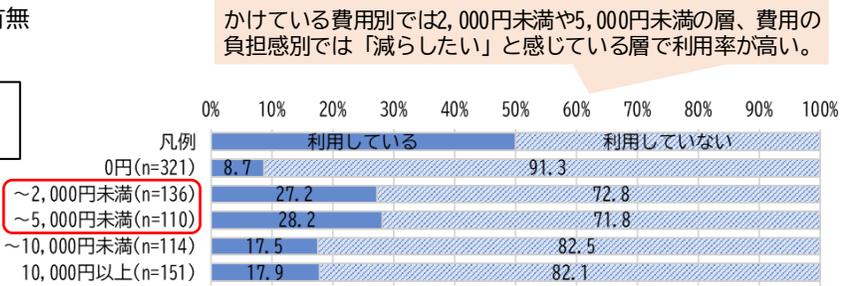
もっとかけられる	13.2
もう少しかけられる	30.9
これ以上はかけられない/かけるつもりはない	44.9
減らしたい	11.0

年代別では学生を多く含む22歳以下、仕事の状況別には学生で利用率が高い。

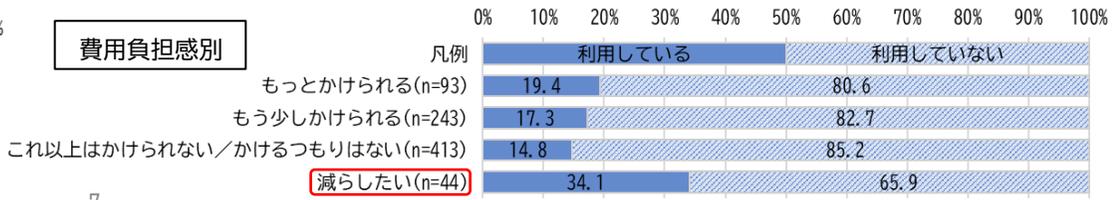
図表17 属性別 社会体育館の利用有無



スポーツに  
かけている費用別



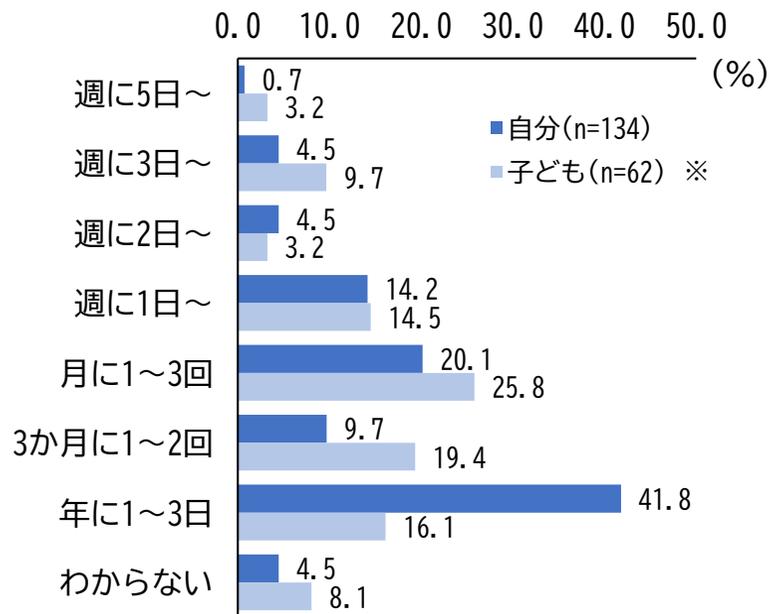
費用負担感別



### (3) 社会体育館の利用頻度

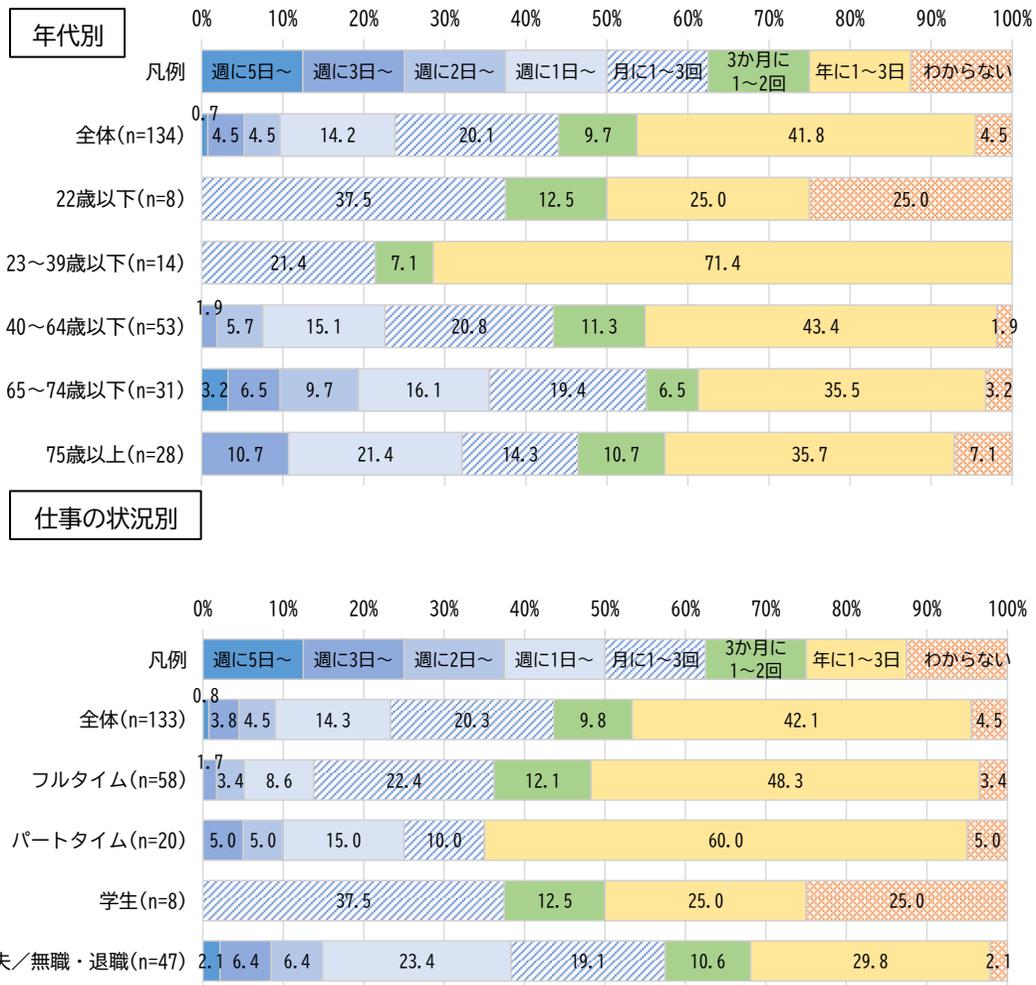
- 社会体育館の利用頻度は、「年に1～3回」の割合が41.8%で最も高く、次いで「月に1～3回」が20.1%となっている。週に1日以上利用している割合は23.9%である。
- 運動・スポーツをしている小学生以上高校生以下の子どもがいる人の子どもの利用頻度は「月に1～3回」が25.8%で最も高くなっている。
- 属性別に対象者本人の利用頻度を見ると、利用頻度が高いのは、年代別では65～74歳以下、仕事の状況別では専業主婦・主夫／無職・退職である。一方、23～39歳の層やパートタイムで働いている層では、「年に1～3回」の割合が高くなっている。

図表18 社会体育館の利用頻度



※回答対象：小学生以上高校生未満で運動・スポーツをしているお子さんのいる人

図表19 属性別 社会体育館の利用頻度

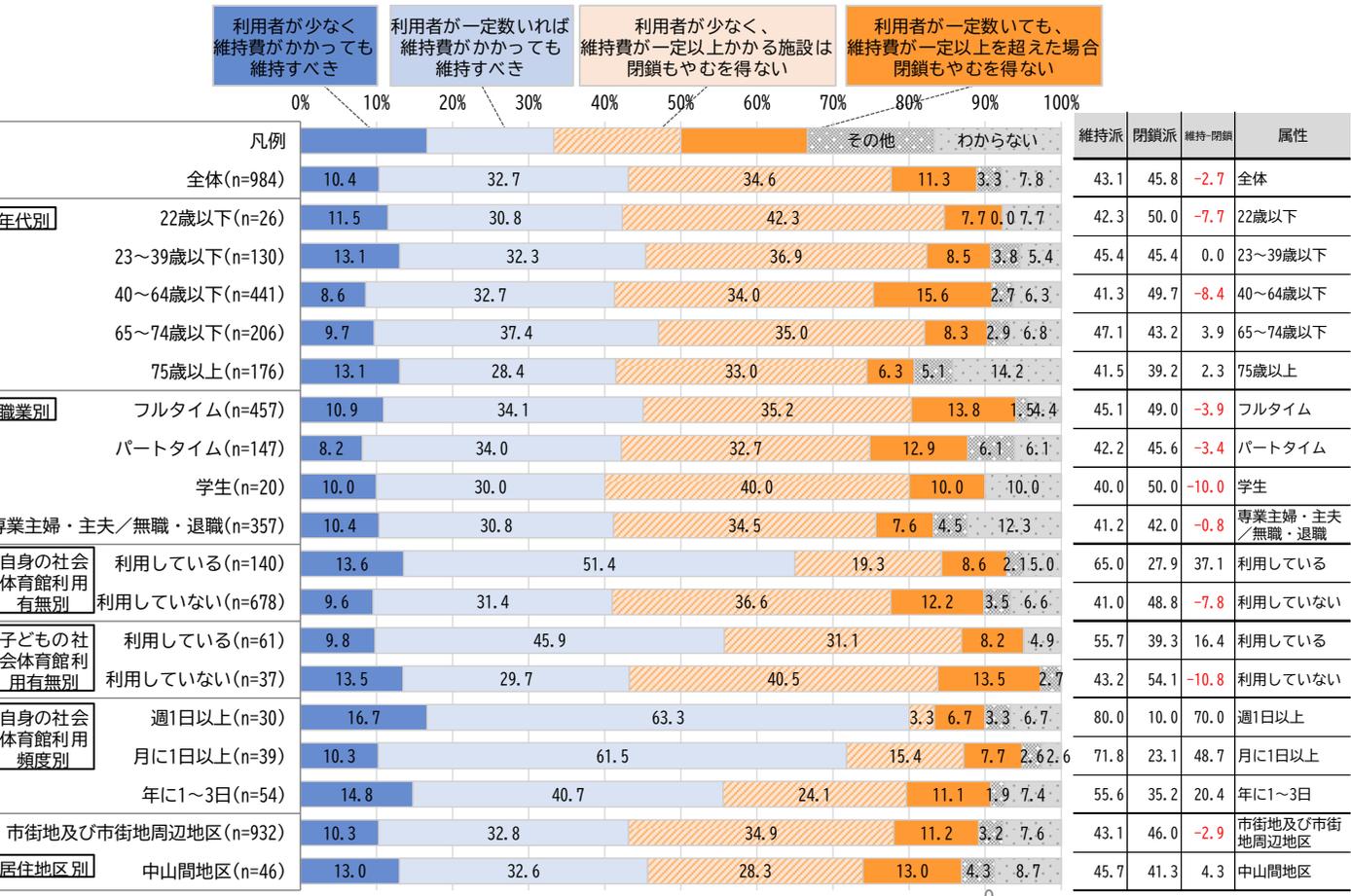


# 4. 社会体育館の維持に対する考え

## (1) 社会体育館の維持に対する考え

- 社会体育館の維持についての考えは、全体では体育館の維持に最も肯定的な「利用者が少なく、維持費がかかっても維持すべき」が10.4%、最も否定的な「利用者が一定数いても、維持費が一定以上を超えた場合は、閉鎖もやむを得ない」が11.3%、また「利用者が一定数いれば、維持費がかかっても維持すべき」と「利用者が少なく、維持費が一定以上かかる施設は閉鎖もやむを得ない」がそれぞれ32.7%、34.6%であり、利用の状況によって施設の方向性を判断していくべきと考えている人が合わせて67.3%である。
- 「維持」「閉鎖」で分けた場合は、両者が拮抗している状況にあるが、本人または子供が社会体育館を利用している人において「維持」、利用していない人において「閉鎖」が支持される傾向が見られる。
- 利用頻度別には頻度が高いほど、「利用者が一定数いれば、維持費がかかっても維持すべき」の割合が高くなる。

図表20 属性別 社会体育館の維持に対する考え



■ 区間推定 (全体)

属性	標本比率 (%)	信頼区間 (%)
利用者数が少なく維持費がかかっても維持すべき	10.4	8.5~12.3
利用者が一定数いれば維持費がかかっても維持すべき	32.7	29.8~35.7
利用者が少なく、維持費が一定以上かかる施設は閉鎖もやむを得ない	34.6	31.6~37.5
利用者が一定数いても、維持費が一定以上を超えた場合閉鎖もやむを得ない	11.3	9.3~13.3
その他	3.3	2.1~4.4
わからない	7.8	6.1~9.4

(95%信頼区間)

## (2) 社会体育館の利用料金についての考え

- 環境整備を行った場合における社会体育館の利用料金（1回2時間の利用において1人が負担する金額）の平均値は「安いと思い、利用する金額」が292円、「利用するのにちょうどよい金額」が519円、「高いと思うが利用する金額」が868円、「高すぎて利用しない金額」が1,537円、「整備をしない場合の金額」が393円である。区間推定では、「利用するのにちょうどよい金額」は491～547円となった。
- 層別に見ると、自身や子どもが利用している層の方が利用していない層よりも平均金額が低い。また、利用頻度が「週1日以上」の層で平均金額が顕著に低くなっている。

図表21 属性別 社会体育館の利用料金（※）についての考えの平均値  
※1回2時間の利用において1人が負担する金額を想定

		整備をする場合				場整備をしない
		金利安 額用い する 思い、	金ち利 額よ 用 う ど よ い に	金利高 額用い する 思う が	金利高 額用 し な い	
全体		292	519	868	1,537	393
年代別	22歳以下(n=26)	244	460	794	1,196	348
	23～39歳以下(n=118)	337	594	978	1,591	434
	40～64歳以下(n=390)	283	518	858	1,569	380
	65～74歳以下(n=160)	295	508	891	1,595	394
	75歳以上(n=84)	282	480	759	1,336	402
仕事の状況別	フルタイム(n=392)	300	551	932	1,687	400
	パートタイム(n=124)	312	526	867	1,536	399
	学生(n=20)	255	478	818	1,180	358
	専業主婦・主夫/無職・退職(n=243)	272	474	772	1,330	384
自身の社会体育館の利用有無別	利用している(n=113)	199	338	574	1,049	261
	利用していない(n=554)	303	540	907	1,597	407
子どもの社会体育館の利用有無別	利用している(n=54)	238	442	766	1,350	341
	利用していない(n=32)	346	523	766	1,254	364
自身の社会体育館の利用頻度別	週1日以上(n=23)	132	242	435	763	193
	月1日以上(n=36)	214	357	631	1,111	285
	年に1～3日(n=44)	212	365	603	1,179	260
居住地区別	市街地及び市街地周辺地区(n=740)	294	522	874	1,552	394
	中山間地区(n=36)	251	459	760	1,276	354

■区間推定（全体）

	標本平均（円）	信頼区間（円）
安いと思い、利用する金額	292	273～310
利用するのにちょうどよい金額	519	491～547
高いと思うが利用する金額	868	818～917
高すぎて利用しない金額	1,537	1,438～1,636
整備をしない場合	393	370～416

(95%信頼区間)

■区間推定（自身の社会体育館の利用有無別）

利用している

	標本平均（円）	信頼区間（円）
安いと思い、利用する金額	199	170～228
利用するのにちょうどよい金額	338	296～379
高いと思うが利用する金額	575	497～652
高すぎて利用しない金額	1,049	888～1,210
整備をしない場合	261	223～299

(95%信頼区間)

利用していない

	標本平均（円）	信頼区間（円）
安いと思い、利用する金額	303	283～324
利用するのにちょうどよい金額	540	506～574
高いと思うが利用する金額	907	846～969
高すぎて利用しない金額	1,597	1,476～1,718
整備をしない場合	407	379～434

(95%信頼区間)

■区間推定（自身の社会体育館の利用頻度別）

週1日以上

	標本平均（円）	信頼区間（円）
安いと思い、利用する金額	132	84～180
利用するのにちょうどよい金額	242	168～316
高いと思うが利用する金額	435	312～558
高すぎて利用しない金額	763	572～954
整備をしない場合	193	107～278

(95%信頼区間)

月1日以上

	標本平均（円）	信頼区間（円）
安いと思い、利用する金額	214	159～269
利用するのにちょうどよい金額	357	289～425
高いと思うが利用する金額	631	455～806
高すぎて利用しない金額	1,111	750～1,472
整備をしない場合	285	222～347

(95%信頼区間)

年に1～3日

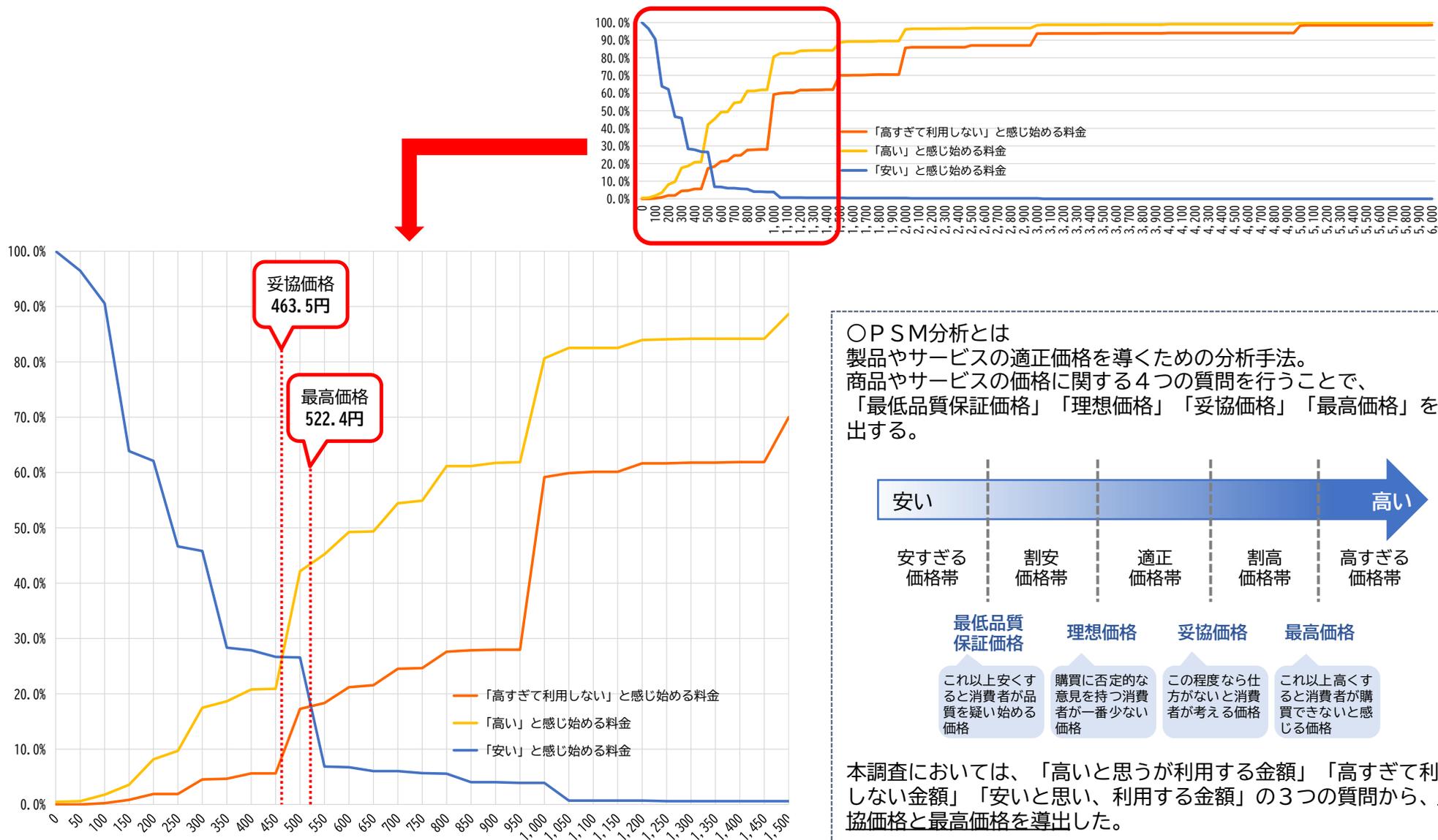
	標本平均（円）	信頼区間（円）
安いと思い、利用する金額	212	163～262
利用するのにちょうどよい金額	365	289～441
高いと思うが利用する金額	603	482～725
高すぎて利用しない金額	1,179	892～1,466
整備をしない場合	260	192～327

(95%信頼区間)

# <参考> PSM分析

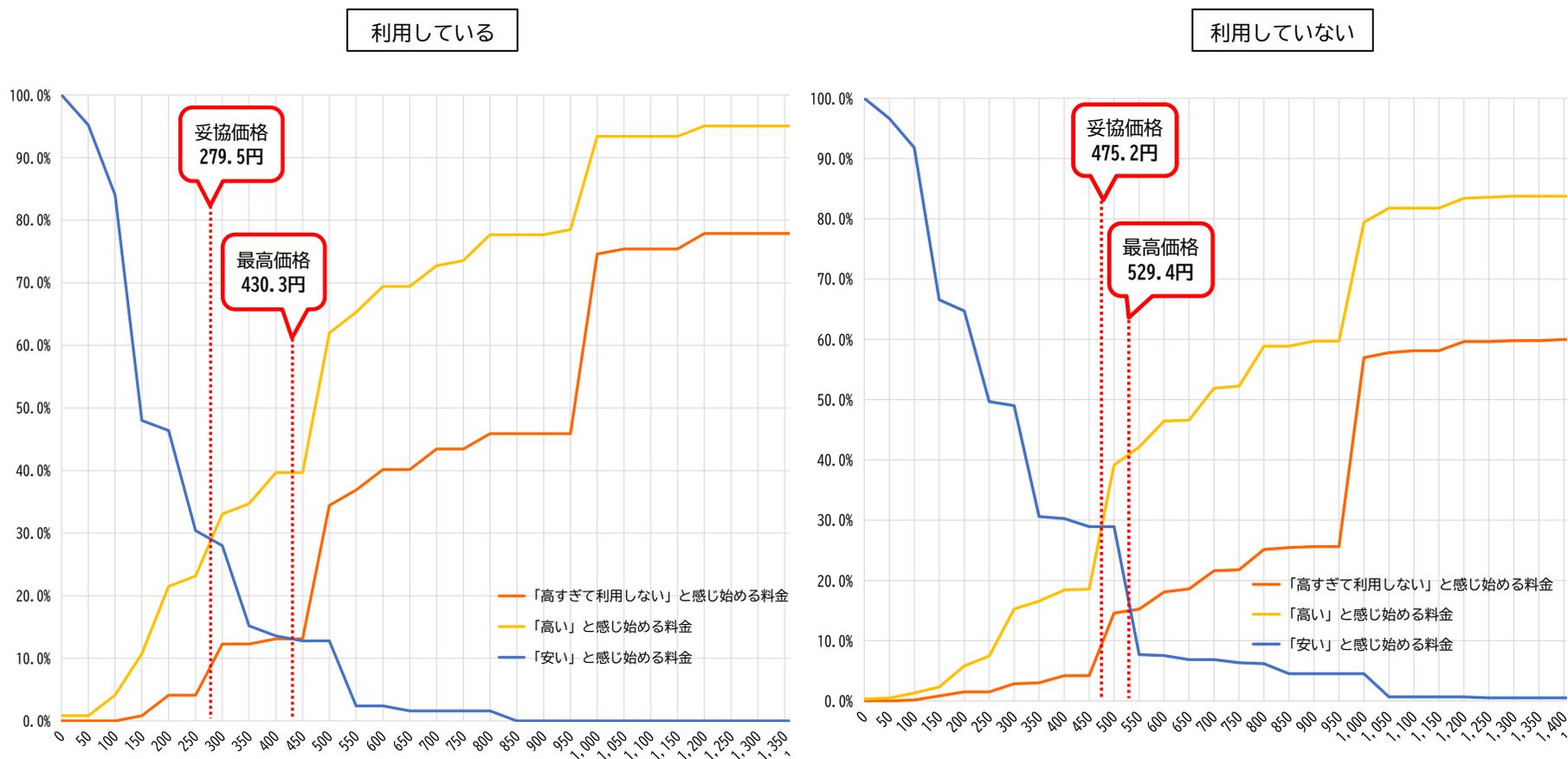
■ 参考分析として、「高いと思うが利用する金額」「高すぎて利用しない金額」「安いと思い、利用する金額」の3つの質問からPSM分析を行った結果、「この程度なら仕方がない」と考える妥協価格は463.5円、「これ以上高いと利用できないと感じる」最高価格は522.4円となった。

図表22 PSM分析 ※Price Sensitivity Measurement (価格感度測定) の結果



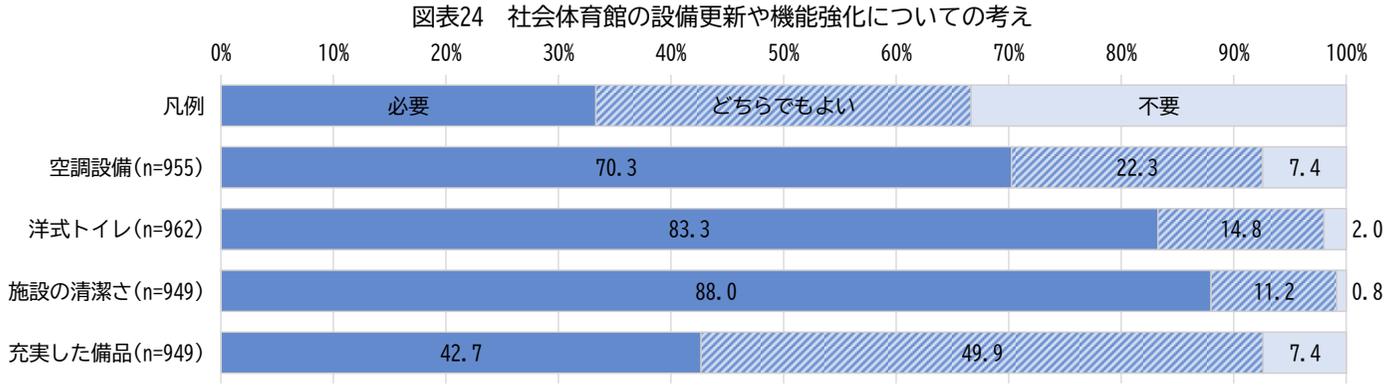
■ 社会体育館の利用有無別にP S M分析を行ったところ、「利用している」層では妥協価格は279.5円、最高価格は430.3円で、「利用していない」層では妥協価格は475.2円、最高価格は529.4円となった。

図表23 社会体育館の利用有無別 P S M分析の結果

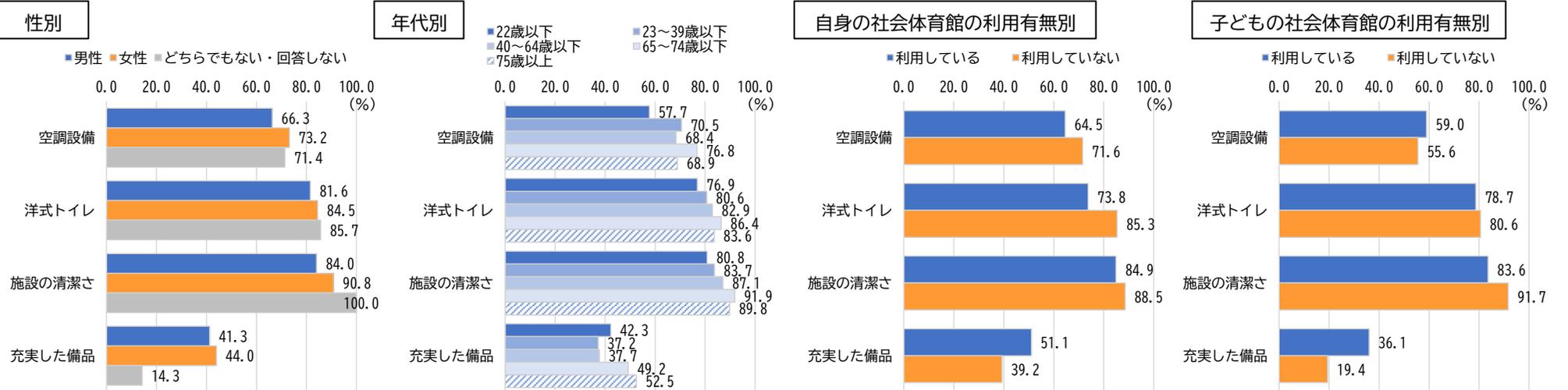


### (3) 社会体育館の設備更新や機能強化についての考え

- 社会体育館の設備更新や機能強化については、「施設の清潔さ」において「必要」の割合が88.0%と、全項目の中で最も高くなっている。
- 次いで、「洋式トイレ」は83.3%、「空調設備」は70.3%であり、「充実した備品」は42.7%である。
- いずれの項目においても、「不要」は1割未満となっている。
- 属性別に見ると、性別では女性やどちらでもない・回答しない人、年代別では65～74歳で、設備更新が必要だと考えられる割合が高い傾向がある。
- 自身の社会体育館の利用有無別に見ると、「充実した備品」は利用者で高く、それ以外の項目は非利用者で高い。
- 子どもの社会体育館の利用有無別に見ると、「空調設備」と「充実した備品」は利用者、「洋式トイレ」「施設の清潔さ」は非利用者で高くなっている。



図表25 属性別 社会体育館の設備更新や機能強化について「必要」だと考える割合

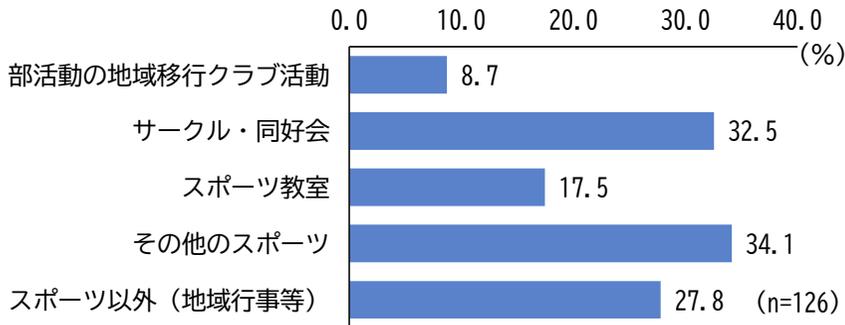


(1) 社会体育館の利用目的・実施種目・よく利用している体育館

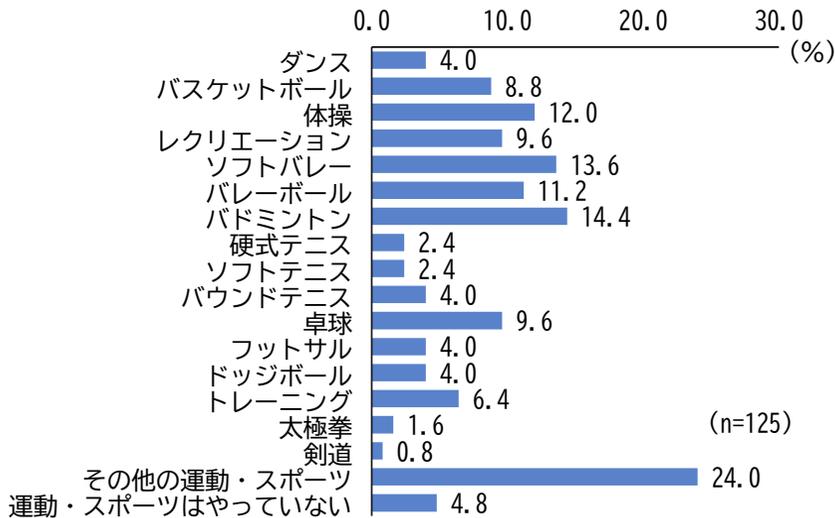
- 社会体育館の利用目的は、「その他のスポーツ」の割合が34.1%で最も高い。
- 社会体育館で実施した運動・スポーツの種目は、「その他の運動・スポーツ」の割合が24.0%で最も高く、次いで「バドミントン」が14.4%、「ソフトバレー」が13.6%、「体操」が12.0%、「バレーボール」が11.2%である。

- 最もよく利用する社会体育館は、「更北体育館」の割合が10.8%で最も高く、次いで「大豆島体育館」「朝陽体育館」「篠ノ井体育館」がそれぞれ7.8%である（ただし母数が少ないため参考値）。

図表26 社会体育館の利用目的[複数回答]



図表27 社会体育館で実施した運動・スポーツの種目[複数回答]



図表28 最もよく利用する社会体育館

体育館名	人数	割合 (%)
更北体育館	11	10.8
大豆島体育館	8	7.8
朝陽体育館	8	7.8
篠ノ井体育館	8	7.8
昭和の森公園フィットネスセンター	6	5.9
安茂里体育館	6	5.9
若穂体育館	6	5.9
塩崎体育館	5	4.9
松代体育館	5	4.9
川合新田体育館	4	3.9
古牧体育館	4	3.9
裾花体育館	4	3.9
芹田体育館	3	2.9
古里体育館	3	2.9
浅川体育館	3	2.9
三輪体育館	2	2.0
小松原体育館	2	2.0
川中島体育館	2	2.0
七二会体育館	2	2.0
豊野体育館	2	2.0
大岡体育館	2	2.0
信州新町体育館	2	2.0
長沼体育館	1	1.0
信更体育館	1	1.0
戸隠体育館	1	1.0
中条体育館	1	1.0
柳原体育館	0	0.0
北郷体育館	0	0.0
芋井体育館	0	0.0
篠ノ井村山健康スポーツセンター	0	0.0
上里健康スポーツセンター	0	0.0
両京健康スポーツセンター	0	0.0
回答者数	102	100.0

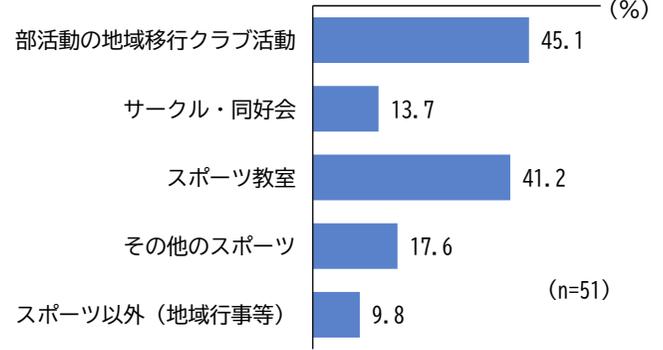
## (2) 子どもの社会体育館の利用目的・実施種目・よく利用している体育館

- 利用目的は、「部活動の地域移行クラブ活動」の割合が45.1%で最も高く、次いで「スポーツ教室」が41.2%である。
- 実施した運動・スポーツの種目は、「バスケットボール」「フットサル」が23.3%で最も高く、次いで「その他の運動・スポーツ」が21.7%である。

- 最もよく利用する社会体育館は、「古里体育館」の割合が10.4%で最も高く、次いで「川合新田体育館」「朝陽体育館」「安茂里体育館」がそれぞれ8.3%である（ただし母数が少ないため参考値）。

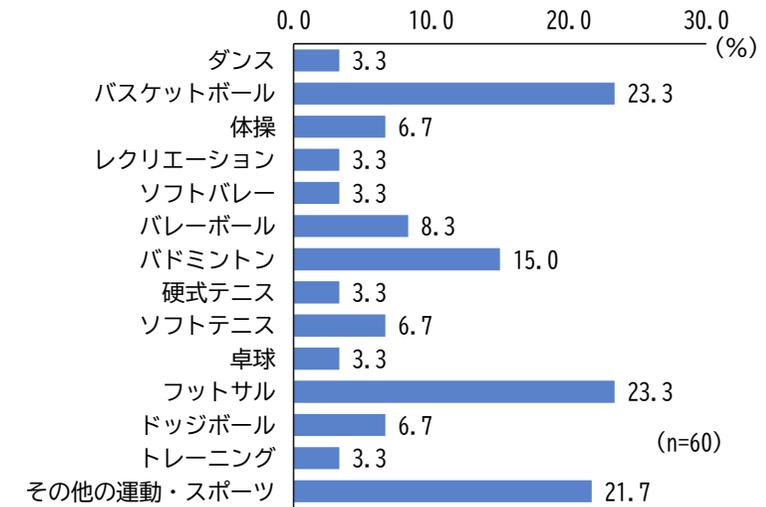
回答対象：小学生以上高校生未満の年齢で社会体育館を利用している子どもがいる人

図表29 子どもの社会体育館の利用目的[複数回答]



回答対象：小学生以上高校生未満の年齢で社会体育館を利用している子どもがいる人

図表30 子どもが社会体育館で実施した運動・スポーツの種目[複数回答]



回答対象：小学生以上高校生未満の年齢で社会体育館を利用している子どもがいる人

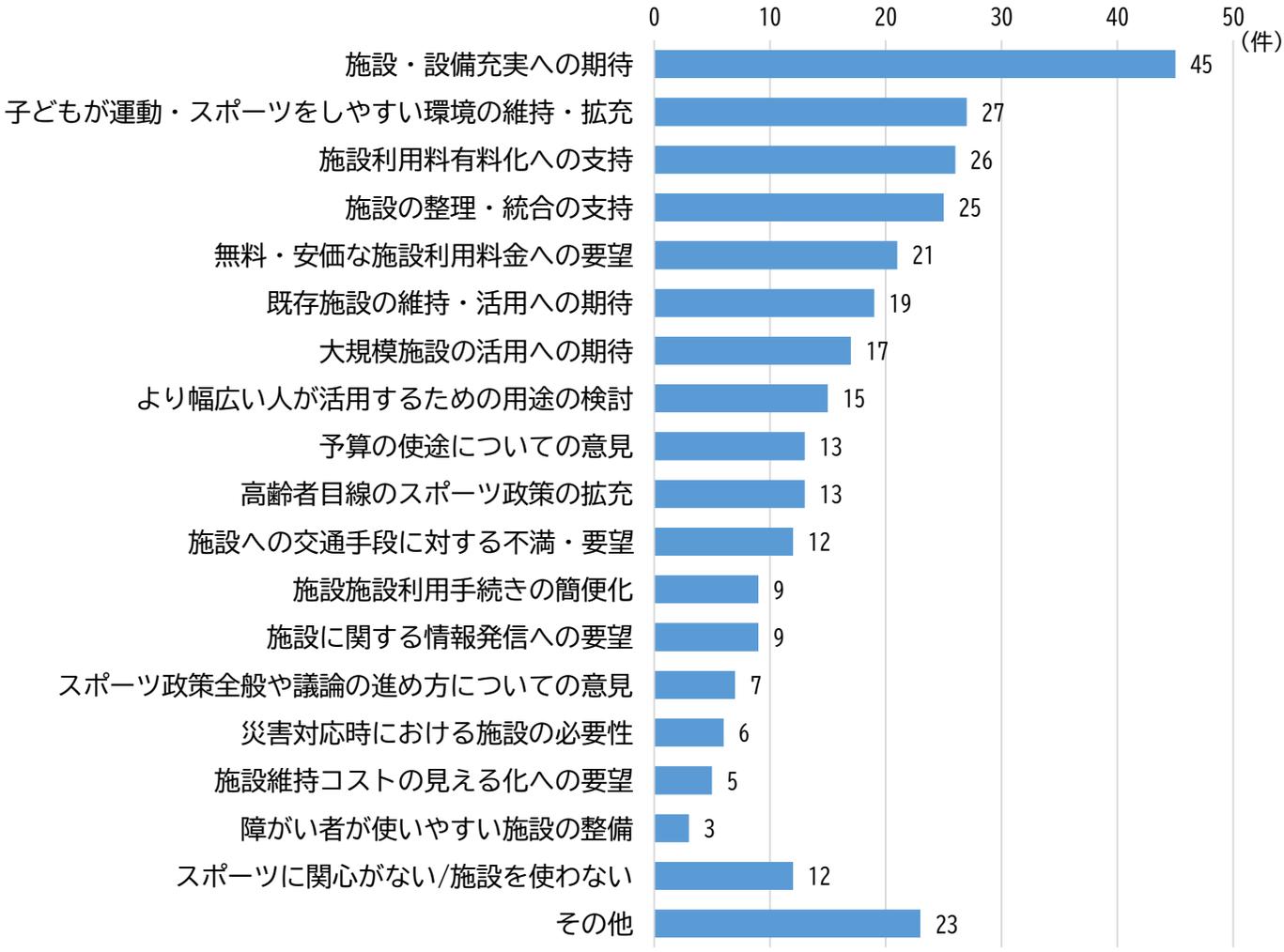
図表31 子どもが最もよく利用する社会体育館

社会体育館	人数	割合 (%)
古里体育館	5	10.4
川合新田体育館	4	8.3
朝陽体育館	4	8.3
安茂里体育館	4	8.3
三輪体育館	3	6.3
浅川体育館	3	6.3
松代体育館	3	6.3
若穂体育館	3	6.3
柳原体育館	2	4.2
長沼体育館	2	4.2
塩崎体育館	2	4.2
川中島体育館	2	4.2
更北体育館	2	4.2
豊野体育館	2	4.2
芹田体育館	1	2.1
古牧体育館	1	2.1
大豆島体育館	1	2.1
昭和の森公園フィットネスセンター	1	2.1
篠ノ井体育館	1	2.1
信州新町体育館	1	2.1
中条体育館	1	2.1
北郷体育館	0	0.0
裾花体育館	0	0.0
芋井体育館	0	0.0
小松原体育館	0	0.0
篠ノ井村山健康スポーツセンター	0	0.0
七二会体育館	0	0.0
信更体育館	0	0.0
戸隠体育館	0	0.0
上里健康スポーツセンター	0	0.0
両京健康スポーツセンター	0	0.0
大岡体育館	0	0.0
回答者数	48	100.0

### (3) 長野市のスポーツ施設の維持に関する意見・要望（自由記述）

■ 長野市のスポーツ施設の維持に関する意見・要望（自由記述）を内容ごとに分類した結果は以下の通りである（回答者数268人）。

図表32 長野市のスポーツ施設の維持に関する意見・要望



※一つの回答に複数の内容が含まれる場合は、それぞれ1件としてカウントしている。